

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有区分	文献	症例	修正 使用 留意	感染症(PT)	出典	概要
												チクングニアウイルス感染	Public Health Agency of Canada/Infectious Diseases News Brief 2007年10月5日	イタリア北東部でチクングニア熱のアウトブレイクが報告された。2007年7月4日-9月14日に確定例101例、疑い例133例がRavenna州で報告された。これはヨーロッパにおいて土着の感染伝播が初めて記録された事例である。
												デング熱	ProMED-mail20071008.3312	ホンジュラス保健当局によれば、デング出血熱1060例を含むデング熱症例22123例、死亡12例が報告された。2006年の報告数を上回っている。
												デング熱	ProMED-mail20071017.3396	WHOの東南アジア地域事務局からデング熱に関する最新の調査結果が報告された。タイでは2007年になってから40000症例以上に達し、2006年の25%増加している。インドネシア全体では100000症例で、昨年の10%増である。ミャンマーにおけるデング熱症例は約12000例であり、2006年の報告数より3分の1増加している。
												エボラ出血	ProMED-mail20071020.3423	ガボンFrancevilleのInternational Centre for Medical Research所属の科学者らは最も病原性の強いザイールエボラウイルスの検体を遺伝学的に分析した。その結果、ガボン/コンゴ民主共和国における野生の類人猿の死体から分離したエボラウイルスの株(strain B)は、以前のアウトブレイクで感染したヒトから分離されたA株とは遺伝学的に異なった新たな系統であり、ウイルスの他の株と遺伝的に交流し、新たな変異型が発生した可能性があることが明らかとなった。
												マラリア	HPA/Health Protection Report 1(43) 2007年10月26日	2007年3月9日、HPA Malaria Reference Laboratoryは、2006年12月28日-2007年3月14日に診断された、インドGoaを訪問した英国の旅行者における熱帯熱マラリア原虫によるマラリア症例5例について報告した。熱帯熱マラリアの増加はGoaの住民で確認され、2007年の上半期に788例報告された。前年同期期においては240例であった。英国マラリア予防委員会は旅行会社がGoaへの旅行者にマラリアの化学的予防を勧めるよう2007年3月にマラリアガイドラインを更新した。